



**BRIG Hillclimb Challenge Series**

# GUIDE BOOK

# 2017

BRIG ヒルクライムチャレンジシリーズ 2017  
ガイドブック



BRIG ヒルクライムチャレンジシリーズ公式サイト

[hillclimbchallenge.com](http://hillclimbchallenge.com)



- Rd.1 御嶽スノーフェスティバル
- Rd.2 御岳スパークライム Vol.1
- Rd.3 御岳スパークライム Vol.2
- Rd.4 第13回マウンテンクライム in 長谷
- Rd.5 御岳高原ヒルクライム
- Rd.6 ALL JAPAN HILLCLIMB FESTIVAL in 御岳



**!! 注意 !!**

モータースポーツには危険が伴います。  
規則やオフィシャルの指示には従った上で、十分に注意して走行・観戦して下さい。万が一、事故などが起きた場合も自己責任となりますので、ご了承ください。

企画・運営：株式会社 K's FACTORY

主催：木曾町観光協会/BRIG ヒルクライムチャレンジシリーズ実行委員会



ラリーシーンで鍛え抜かれた BRIG ブレーキパッド



全日本ラリー選手権をはじめ、インターナショナルラリーなどの過酷なラリーシーンで鍛え抜かれたクオリティと信頼性。グラベル、ターマック、ハイスピードコーナー、タイトコーナーなど、すべてのステージでドライバーが最も理想とするブレーキ特性を発揮。ラリーのために生まれ、ラリーによって進化し続けるコンペティションブレーキパッド、ブリッグ。

## Rally Series

### New Gp. NY27,300 (本体価格 ¥26,000)

マスターブックレス車用専用の競技用パッド。完全コントロール、新フェード、耐摩耗性。すべてを完璧に再現したパッド。

- 材質：セメタリック材
- 摩擦係数：0.4~0.55
- ローター攻撃性：弱め
- 適合温度：0~450℃
- 初期制動：強め
- 新フェード：300℃以上

### Soft (RS) Y21,000 (本体価格 ¥20,000)

初級向けフロントパッド。

- 材質：ノンアスベスト材
- 摩擦係数：0.3~0.4
- ローター攻撃性：弱い
- 適合温度：30~500℃
- 初期制動：強め
- 新フェード：350℃以上

### Medium (RM) Y24,150 (本体価格 ¥23,000)

コントロール性を重視。

- 材質：ノンアスベスト材
- 摩擦係数：0.3~0.45
- ローター攻撃性：弱い
- 適合温度：30~600℃
- 初期制動：普通
- 新フェード：450℃以上

### Hard (RH05) Y27,300 (本体価格 ¥26,000)

安楽品から材質を見直し、高温時の制動フェールを大幅に向上。

- 材質：セメタリック材
- 摩擦係数：0.4~0.55
- ローター攻撃性：強め
- 適合温度：50~800℃
- 初期制動：強い
- 新フェード：350℃以上

### Super Rally Competition (SRC05) Y27,300 (本体価格 ¥26,000)

優れたコントロール性でありながらロングライフ化を重視。

- 材質：セメタリック材
- 摩擦係数：0.4~0.5
- ローター攻撃性：強め
- 適合温度：100~800℃
- 初期制動：強め
- 新フェード：800℃以上

### Soft (RS) Y21,000 (本体価格 ¥20,000)

グリップ走行向けリヤパッド。

- 材質：ノンアスベスト材
- 摩擦係数：0.3~0.4
- ローター攻撃性：弱い
- 適合温度：30~500℃
- 初期制動：強め
- 新フェード：350℃以上

### R Medium (RM) Y24,150 (本体価格 ¥23,000)

駆力での動きコントロールタイプ。

- 材質：セメタリック材
- 摩擦係数：0.4~0.55
- ローター攻撃性：弱い
- 適合温度：30~500℃
- 初期制動：強め
- 新フェード：350℃以上

### R Hard (RH) Y27,300 (本体価格 ¥26,000)

高温まで安定した強い熱。

- 材質：セメタリック材
- 摩擦係数：0.45~0.7
- ローター攻撃性：多少あり
- 適合温度：30~450℃
- 初期制動：強い
- 新フェード：450℃以上

### New! R Hard09 (RH09) Y31,500

(本体価格 ¥30,000)

ICM/A7/Sinoh/J77専用



株式会社 和光ケミカル

---

# IHI

## Realize your dreams

株式会社IHIターボ

〒399-5502 長野県木曾郡大桑村須原1417番地

TEL (0264) 55-2255 FAX (0264) 55-2261

URL: [www.ihi.co.jp/tj/](http://www.ihi.co.jp/tj/)



株式会社ヤマテ工業

電話番号 053-426-6222

FAX 番号 053-426-6227

**BBF** Brilliant  
Buff-  
Finishing®

# ごあいさつ

---

「ヒルクライム」という競技は、日本国内でもかつては盛んに行われていました。しかし開催がストップして長い年月が経ち、そして平成 11 年に現在のシリーズの原型となる「マウンテンクライム in 長谷」をスタートさせました。各カテゴリの選手も、またビギナーも手軽に出場ができる大会として、一時は 70 台を越す盛況ぶりでした。そのためマナーの悪い選手が出場し、メディアが煽ることで、地域への悪影響を懸念し中断を余儀なくされました。

しかし現在の形として「きちんとしたシリーズ化」するとともに、より良いモータースポーツ環境を維持しようと、選手や関係者一団となってヒルクライムコミュニティを形成、「国内で唯一の本格的ヒルクライム」であり「手軽にモータースポーツに参加できるイベント」であり、そして「エキスパートの絶技、競演がみられる場」として、みんながこのシリーズを盛り上げようというスタイルになってきました。メディアの方々も「地域振興や噴火災害復興に貢献している」として好意的な声援を送っていただけるようになってきました。モータースポーツ界にもわかに行きの兆しが見える中、「ヒルクライムであってヒルクライムでないイベント」により、地域へ悪影響を及ぼしたり、参加者とトラブルを起こしたり、問題を起こすイベントが増えています。そんな中、このシリーズは、自治体、地域関係者、地元住民、運営スタッフ、競技運営、参加者、関連ショップさんなどが一体となって協力することで成り立っているため、これからも全国の「モデルケース」として成長していくでしょう。今後も楽しいモータースポーツ文化を絶やさぬためにも皆様のご協力宜しくお願いします。

---

**鈴木一也**

BRIG ヒルクライムチャレンジシリーズ実行委員長

## 大会役員

大会名誉会長	原 久二男 (木曾町町長)
大会名誉副会長	千村 孝男 (木曾町観光協会会長)
大会会長	丸山 和彦 (株式会社ブロンコ・バスター)
実行委員長	鈴木 一也 (K's Racing Team 代表)
実行委員	清水 和彦 (フレンド・ラリー・クラブ)
実行委員	桜井 良勝 (木曾町商工会青年部長)
事務局	伊豆野康平 (株式会社 K'sFACTORY)

# ◆ シリーズについて

## ヒルクライムの年間シリーズ戦



山の中にあるターマック（舗装路）の公道を占有して行われるタイムトライアル競技、ヒルクライム。ヨーロッパでは古くからメジャーなモータースポーツとして根付いており、市販車からレーシングカーまで様々なマシンが切磋琢磨しています。BRIG ヒルクライムチャレンジシリーズはこの競技を国内唯一の年間シリーズ戦として開催しており、様々なステージを皆様にご提供して参ります。また、年式と排気量に

よるカテゴリに加え、自己申告による NOVICE/OPEN/X-treme というクラスをご用意しており、モータースポーツビギナーから腕前に自信のあるベテランドライバーまで、幅広く楽しんでいただけます。更に 2017 年はタイム計測無しで純粋に走りを堪能する EXPERIENCE クラスを新設！友人・家族を誘って（もちろん一人でも！）モータースポーツを楽しんでみませんか？

# ◆ 競技方法

## 2 回走行した合計タイムで勝負します！

ジムカーナやダートトライアルでは一般に、2 回走行したうちの速いタイムが結果となります。しかし、BRIG ヒルクライムチャレンジシリーズでは2回の合計タイムで順位を競います。公道ならではの最後まで気を抜けないドライビングをお楽しみください！

スタート方法はラリーの SS（スペシャルステージ）と同様の方式を採用しています。各車が 1 分間隔で、シグナルの合図とともにスタートして計測が始まります。



## 実施方法

- (1) コンボイ走行による試走（レッキ）を 1 回行う。
- (2) その後 2 回計測を行い、合計タイムで順位を決定する。（EX クラスはタイムを計測しない）
- (3) 未通過車両を確認した場合は計測を中断することがある。
- (4) ただし、NOVICE クラスは原則的に再計測を行わない。

## ◆ シリーズポイント

年間シリーズとして順位に応じてポイントを付与

以下の表の通り、EX クラスを除いて各イベント・クラスごとにポイントを付与します(※)。この合計で年間成績が決まります。

クラス順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
ポイント	10	7	5	4	3	2	1

※Rd.1BRIG スノーチャレンジを除く

※各クラス参加台数 3 台以上で成立

- ・シリーズポイントにより次戦の出走順を決定します。
- ・OPEN クラスでシリーズ 1 位の選手は翌年 X-treme での参加を認めます(クラス紹介参照)。
- ・シリーズ表彰対象者は各クラス、最低 2 戦以上に参加した方とします。

また、2017 シーズンより、1 走目/2 走目のいずれかで各クラスのベストラップを記録した選手にもポイントを付与します。

ベストラップ賞	1位
ポイント	3

## ◆ 賞典

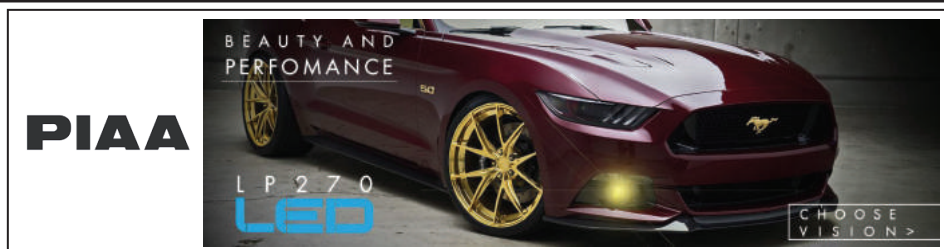
各イベントごとに、上位入賞者へは賞典が与えられます。

- ・ X-treme クラス 優勝者 賞金 3 万円 2 位 賞金 1 万円
- ・ OPEN/NOVICE クラス各クラス 1 位、2 位、3 位を表彰、副賞あり
- ・ ベストラップ賞 全参加者のうちベストラップの選手に賞金 1 万円

※表彰台数及び賞金、副賞は参加台数によって変更することがあります。

※同タイムの場合、排気量の少ない方を上位とします。更に同排気量の場合、運転者の年齢が高い方を上位とします。

年間ポイント上位の方はシリーズ表彰を行います。こちらについては後日発表予定です。



## ◆ 車両・安全装備について

ヒルクライムは公道を使用したモータースポーツです。サーキットのようなエスケープゾーンはありません。また、様々な構造物があり、路面のうねりやギャップ等も存在します。

そして、公道を占有して行うイベントは開催する地元の方々のご理解があって初めて成り立ちます。皆様の安全と競技の健全な発展のためにも以下の項目を厳守願います。

### 参加車両

- (1) 自動車登録番号標が交付されていて、有効な車検を有する車両。
- (2) マフラーについては、車検の通るものとする。
- (3) タイヤについては、公道用量産タイヤでスリップサインの出いていないものとする。(クラス一覧参照)
- (4) 4点以上のロールバーの装着を推奨する。(オープンボディは必須)
- (5) シートベルトは、4点式以上を装着すること。
- (6) 参加車両の重複出走については不可。

### 携行品及び所持品、服装

- (1) 非常用停止表示板(1枚)・牽引ロープ・発煙筒(1本)・救急薬品
- (2) ヘルメット・グローブ・レーシングスーツもしくは長袖のつなぎ服  
または木綿の長袖・長ズボンとし、サンダルは不可。

その他、安全装備として HANS (Head And Neck Support) や車載消火器等のご用意をお勧め致します。万が一の際に、身体を守るための装備です。常に安全を意識して、ヒルクライムを楽しみましょう! 装備品については事務局である株式会社 K's FACTORY でも取扱いがございますので、お問い合わせ下さい。

## ◆ 同乗について



運転者と同様に安全装備を装着していれば、助手席へ同乗しての走行も可能です。ラリーのコドライバーの練習としてこのイベントに参戦される方もいますし、仲間を楽しむ方もいます。一人より二人で、週末を楽しんでみるのもよいかも知れません。

# ◆クラス紹介

BRIG ヒルクライムチャレンジシリーズは、ドライビングスキルと年式によるカテゴリ、排気量による車両区分を組み合わせ、合計 10 クラスでの構成です。

クラス一覧

EX クラスはタイム計測無し

カテゴリ	クラス	車両区分	タイヤ	
エクスペリエンス	EX	車種制限なし	ラジアルタイヤ ラリータイヤ	
	ノービス	A		排気量 1500cc 以下の車両
		B		排気量 2500cc 以下の車両
オープン	C	排気量 2500cc を超える車両	公道用に市販されているタイヤ	
	K	2WD NA 軽自動車		
	A	排気量 1500cc 以下の車両		
	B	排気量 2500cc 以下の車両		
	C	排気量 2500cc を超える車両		
X-treme	X	初年度登録が昭和 63 年以前の車両 シリーズ登録をした選手		

※過給装置装着車両については、係数 1.7 倍とする。

※ロータリー係数は 1.5 倍とする。

## クラスごとの特徴

エクスペリエンス			
EX	タイム計測なしでヒルクライムを体験してみたいというクラス		
ノービス		オープン	
A	軽ターボ車とコンパクトカーの一騎打ちが繰り広げられるのが A クラス。まさに“小粒でもピリリと辛い”闘いが繰り広げられます。		タイヤ選択の幅が広がることで、改造度合いも大胆になるオープン A クラス。リトルモンスターたちが豪快に駆け上っていく姿は爽快感を感じます。
B	テンロクマシンや 2 リッター NA スポーツが織り交ざる B クラス。ワインディングの景観が似合うマシンたちが集まります。		ラリー車・ピュアスポーツが勝負を繰り広げることの多いオープン B クラスは、大排気量マシンとも異なるシビアな展開が繰り広げられます！
C	クラス別最多エントリーとなる機会が多い C クラスはまさに激戦区です。ハイパワー FR と 4WD 車の戦いも繰り広げられます。		テクニックとパワーで豪快なドライビングを披露するオープン C クラス、ときには X-treme クラスを脅かすタイムも！？
			
			



## K クラス (軽自動車 NA)



軽自動車でも特に NA (自然吸気・ターボ無し) エンジンに絞ったクラスのため、リーズナブルなマシンコストとユニークな車種選択が魅力です。トップスピードは決して高くありませんが、その分コーナリングテクニックが試されることとなるでしょう。普段使いのセカンドカーで遊びに来るもよし、お気に入りの K カーに手を加えて走ってみるもよし、小さなボディに様々な可能性を秘めたマシンたちが走るクラスとなるでしょう。

## D (ヒストリック) クラス



往年の名車たちが他に類を見ない豪快な走りイベントを盛り上げます！BRIG ヒルクライムチャレンジシリーズではトップバッターを務めるクラスです。イベントでは走行タイムのみならず、ヒストリックマシンで占有道路をスポーツ走行する気持ちよさも存分に感じられます。

D クラスでは排気量区分がありませんが、ヒストリックカーならではの軽量ボディで軽やかにフィニッシュラインを駆け抜けていきます。

## X-treme クラス



イベントにおいて最高峰クラスに位置付けられるのがこの X クラスです。賞金も設定されており、スペシャルリストが火花を散らします！ハイパワーマシンをスライドさせながら駆け上がる雄姿はまさに圧巻です。

※X-treme クラスは、年間シリーズ登録し、シリーズ事務局により承認された選手のみエントリー可能とします。シリーズ登録した方は、大会が優先的に PR に協力します。ただし、登録後は年間全戦に参加しなければなりません。また、不出走となった大会や欠場した大会の参加費は払わなければなりません。参加希望の方は個別にお問い合わせ下さい。



HIGH PERFORMANCE EQUIPMENT  
**CUSCO SPORT** **NEW**

CUSCOのモータースポーツの経験を注ぎ込んだ最高峰モデル、登場。

FOR SPORTS CUSCO SPORT S FOR SPORTS CUSCO SPORT R  
FOR SPORTS CUSCO SPORT X FOR SPORTS CUSCO SPORT S



## ◆ イベントスケジュール

Rd	イベント名	開催日	特徴
1	BRIG スノーチャレンジ シリーズポイント対象外	2/15(土)	冬の御岳、一面銀世界の中を駆け上ります！雪煙を上げながら走る姿は大迫力です。長野県木曽郡木曽町の「御岳スノーランド」を利用したコースで行われます。
2	御嶽スーパークライム Vol.1	5/13(土)	緑豊かな御岳山麓が舞台のターマック初戦です。高速セクションとツイスティなヘアピンが混在し、メリハリのあるドライビングが勝負の決め手となります。ヘアピンの立ち上がり方でタイムが大きく変わるでしょう。
3	御嶽スーパークライム Vol.2	5/14(日)	唯一日曜日に開催となる Vol.2 では、豪快な2車線道路を駆け抜けます。全長約 5km の非日常をお楽しみ下さい。Vol.1 との連日開催ですが、それぞれの順位にシリーズポイントが与えられます。
4	第 13 回マウンテンクライム in 長谷	7/8(土)	シリーズでは最も歴史あるイベントで、第 1 回の開催は 1990 年代に遡ります。他のシリーズイベントとは異なる地域での開催となり、スポット参戦が多いのも特徴です。テクニカルながら小気味よいコーナーが続き、ベテラン好みのレイアウトと言えるでしょう。
5	御岳高原ヒルクライム	9/2(土)	毎年コースの異なる御岳高原ヒルクライム、今年の開催コースも乞うご期待。暑さが残りつつも、秋の香りを感じられる御岳山麓を走ります。シーズン終盤に差し掛かり、ポイント争いにも注目です。
6	ALL JAPAN HILL CLIMB Festival in 御岳	11/11(土) -11/12(日)	シリーズ最終戦にして最大規模となるのがこのイベント。今年はいよいよ新規コースでの開催となります。昨年同様、総台数 100 台以上のビッグスケールを予定しております。詳細は <a href="http://alljapan.hillclimbchallenge.com">alljapan.hillclimbchallenge.com</a> を御覧下さい。

YOKOHAMA は、  
先駆ける。





100周年特設サイト



おかげさまで 100 周年

# ◆ ALL JAPAN HILL CLIMB Festival

シリーズ最終戦となる ALL JAPAN HILL CLIMB Festival in 御岳。2016年にシリーズポイントの付与されないオールスター戦として初開催され、総勢 120 台の個性豊かな車両が集いました。

2017年はポイント対象として、シーズンのクライマックスを彩ります。

新たに開催を予定しているコースは2車線の豪快な登坂路です！シリーズ史上最大ボリュームのイベントに相応しい舞台が皆様をお待ちしております。

開催日 2017年11月11日(土)-12日(日)

場所 長野県内 御岳山麓

詳細は特設サイト [alljapan.hillclimbchallenge.com](http://alljapan.hillclimbchallenge.com) に掲載予定です。



## ◆ 表彰パーティ

2017年は大会と別日程にて、12月に表彰パーティを開催予定です。

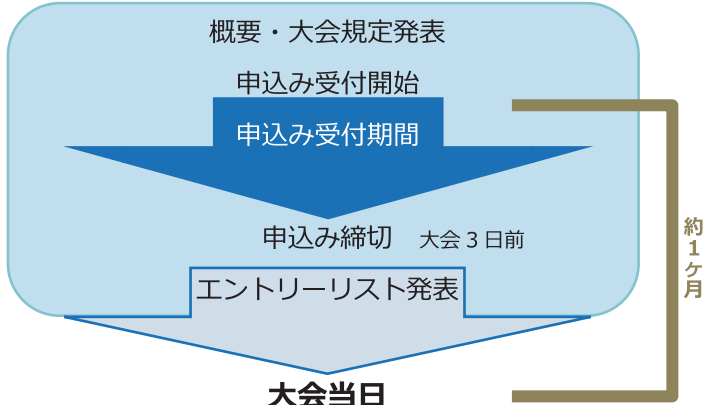
シーズンをともに走ったメンバーと、1年を振り返りながら楽しいひと時をお過ごし下さい。

詳細は大会公式ウェブサイトにて発表いたします。

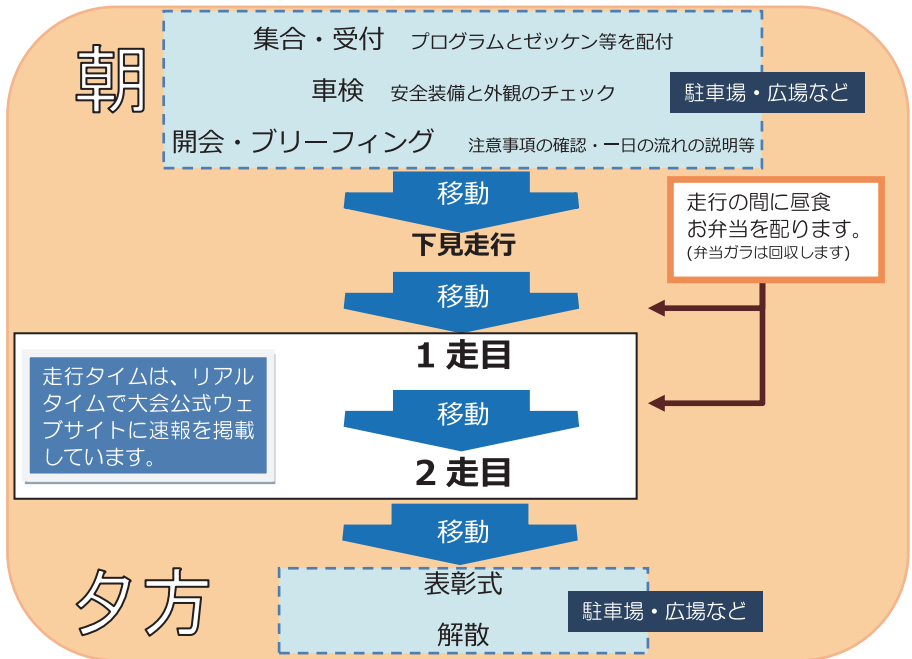
# ◆ヒルクライムの流れ

申込み～大会までの大まかな流れです。大会ごとに差異があります。詳細は大会規定を御覧ください。

## 大会前



## 大会当日



# ◆大会公式ウェブサイト/事務局

BRIG ヒルクライムチャレンジシリーズの詳細情報は

[hillclimbchallenge.com](http://hillclimbchallenge.com)

をご覧ください。

最新情報やイベントの告知、参加者向けの案内を掲載しております。



お問い合わせ先/事務局

〒396-0005

長野県伊那市野底 8268-93

株式会社 **K'sFACTORY**

TEL 0265-76-8162 FAX 0265-96-7339

E-mail [info@hillclimbchallenge.com](mailto:info@hillclimbchallenge.com)



## ◆参加申込み

### 参加費

各クラス(EXPERIENCE を除く) 15,000 円

EXPERIENCE クラス 10,000 円

同乗 2,000 円

BRIG ブレーキパッド装着車  
割引制度有り

※各大会の大会規定により異なる場合があります。

### 参加申し込みの打ち切り

大会ごとに、規定台数に達した場合は参加申込期間終了前に締め切ることがあります。

### 参加申し込み受付期間

大会の3日前までに必着とします。

### 参加申し込み先

所定の申込用紙へ記入して、以下の住所へ郵送して下さい。

メール/FAX でお申込みの方は、大会当日に誓約書に署名捺印済の原本をお持ち下さい。

〒396-0005 長野県伊那市野底 8268-93  
株式会社 K's FACTORY TEL 0265-76-8162  
FAX 0265-96-7339  
entry@hillclimbchallenge.com

### 参加料振込先 参加費については全額銀行振込とします。

アルプス中央信用金庫 竜東支店  
普通口座 7145196 口座名義 カ) ケーズファクトリー

## BRIG 割引について

BRIG ブレーキパッド装着者両で、条件を満たして参加する場合は、**3000 円割引!**

- ※ 1 参加車両名に「BRIG」を入れ、車体にステッカーを貼り付けていること。
- ※ 2 BRIG サポートドライバーは対象外とします。
- ※ 3 申込用紙の項目を全て記入し、金額を記載して下さい。

### 2018 年以降の割引適用について

2018 年より、『有効期限 1 年の販売証明書のコピーを提出した場合』のみとします。  
2017 年は、猶予期間としますが、販売証明書は準備でき次第ご用意いたします。

## ◆ 保険

希望者は、下記内容の搭乗者傷害保険の加入ができます。

一度加入すると、年度内は何度でも適応されます。(4月1日～3月31日)

スポーツ安全保険 搭乗者傷害 3000万円(最高額)

保険料 2000円+準クラブ会費3000円

※カードレール等の道路施設を破損した場合は、現状復旧費用を請求させていただきます。

道路をお借りするに当たって厳しく検査されていますので、必要な方は競技用対物保険加入をお勧めします。

競技用対物保険について、事務局(株式会社 K'sFACTORY)でも加入出来ます。詳細はお問い合わせ下さい。

## ◆ 注意事項

### 参加資格

参加車両を運転するのに有効な自動車運転免許証を取得後、参加申し込み締切日において、1年以上経過していることが条件です。

### 参加者の遵守事項

競技中は如何なることがあろうとも、現行道路交通法の遵守を優先とし、他の交通に迷惑を及ぼしてはなりません。

競技中は主催者の指示に従い、スポーツマンとして公正な行動をとりましょう。

本競技会のための練習走行を禁止し、明らかにその行為と認められた場合は、失格を含むペナルティを課すとともに、損害賠償等の責を負うものとします。

### 損害の賠償

参加者は、主催者及び道路監督管理者が、一切の損害賠償の責任を免除されていることを了承しなければなりません。

参加者は、道路及び付帯施設を損壊した場合は速やかに主催者に申告し、責任をもって現状復帰を行って下さい。

### 失格

主催者の判断により参加者に失格を言い渡すことがあります。

会場内での暴走行為を禁止し、発覚した場合は失格とします。

コースオープン/クローズ時刻を設定している場合は遵守をお願いします。スタッフに許可を得ず時間外の走行/立ち入りをした場合、失格を言い渡すことがあります。

また、大会開催日より50日前からは、開催エリアにおいて事前試走及び練習走行とみなす行為を禁止します。発覚した場合は失格とします。



木曾町観光協会  
KANKOU-KISO.com



大きく息を吐く。  
からだの中から  
新しくなる

〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島 5084 番地

TEL: 0264-22-4000

FAX: 0264-24-3500



長野県  
木曾町  
Kiso Town

